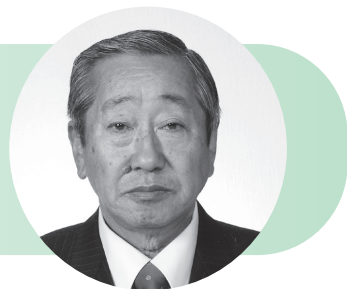


伊藤 勝巳 議員



建設中の日の出小学校へ 指定地区外から通学できるか

問

日の出小学校【関連記事
2面】について聞く。

- (1) 前ヶ須地区の市民から、通学が認められないか問い合わせがあったが、どうか。
- (2) 学校近くの用水路を、コンクリート板で塞いで通学路に使用してほしいと、近隣住民から要望があった。市の考えはどうか。

平島・車新田が 通学区域

答 学校教育課長

- (1) 市の小中学校通学区域は、行政区単位で分かれています。日の出小学校区は、平島全域と車新田の行政区域である。前ヶ須地区は、全域が引き続き桜小学校区となる。関係地区説明会を

◀ 4月開校を控えた

日の出小学校



開催し現在に至っており、理解願いたい。

答 市長

- (2) 開校し様子を見て、子どもたちの安全がそぐわなければ、検討しなければならぬと思っている。

名古屋十四山線の 開通はいつか

問

道路について聞く。

- (1) 向陽通は、平島地区の住民から国道1号への開通を要望されている。
- 早期着工に向け、地権者との交渉を要望するがどうか。

- (2) 名古屋十四山線は、大山区からコンビニ隣接の信号機までの用地買収はどこまで進んでいるのか。
- (3) 名古屋十四山線の完成見込みは、いつ頃を予定しているか。

順調なら26年度 から3年後

答 都市計画課長

- (1) 平成12年度より用地買収を依頼しているが、合意に至っていない原因は、国道1号の拡張計画で交渉が

が中断したことや、地権者への物件補償の依頼に時間がかかったことなどが主な要因と考えている。

答 土木課長

- (2) 鍋平四丁目～六條町地内の210m区間は、19年度に県が事業着手し、21・22年度に一部物件移転と用地買収が実施された。

その後、予算確保が難しく、用地買収が進まなかったのが現状で、地権者に迷惑をかけている。

しかし、24年度より予算確保され、現在、地権者と用地交渉を進め、なるべく年度中に契約するよう、県が交渉を進めている。

また、県は24年度、地質調査、管渠等の詳細設計を発注したいとの考えがあり、順調にいけば、26年度ぐらいから工事予定を考えていきたいとの意見である。

- (3) 順序よくいけば3年ぐらいで工事は完了したい段取りで県は考えているが、財政面が問題になるので、何年かは答えられない。